

2023.10.25

No. 178



立科町

議会だより

目次

子ども議会	P2~3
議案審議報告	P4~5
常任委員会報告	P6~7
決算特別委員会	P8~12
一般質問	P13~19
議会報告&意見交換会開催のお知らせ	P20
編集後記	P20

錦秋の
津金寺

開催 小学6年生

8.29

立科小学校6年生を迎え、子どもたちから質問を受け、議員が答えました。(1組 8:30~10:30/2組 10:30~12:30)

子どもたちが順次庁舎を訪れ、町長室や緊急情報を流す放送室、2階のフロアをまわり、議員が各課の仕事を説明。3階の会議室・4階の議会フロアも訪れ、議場を映し出すモニターのある第2委員会室では、議会の中の2つのカメラから映し出される本会議場中継の様子を見学しました。

スクリーンで、議会の仕組みを学んだあと、議長が「まず最初に議員の名前を呼びますので、手を上げて返事をしてください。」と、一人一人の子どもの名前を呼びました。

その後「これより子ども議員による模擬議会を始めます。質問のある子ども議員の発言を許可します。質問はありますか。」と、子ども議会がスタートしました。



子どもたちを迎える議長



庁舎内見学



議場 名前の書いてある議席に座る



議会の仕事の説明を受ける



質問席から質問する



質問に答える議員

〈記念撮影〉



6年1組



6年2組



子ども議会

6年生からの質問と議員の答えです。

(概略)重複・関連質問はまとめてあります。



公共施設のすべての階段に手すりを付けてください。館内のいたるところ、階段・廊下に手すりを付けてください。

A

公民館も古くてエレベーターもエスカレーターもなくでご不便をおかけしています。これから公民館を建て替える時に必ずつけると思います。廊下など「いろんな場所に手すり」という良い提言をありがとうございました。



気持ちよく水泳学習ができるように、町に室内プールを作してほしいです。

A

あればいいとは思いますが、この場では「できません」とは答えられません。町長に声を届けます。



高齢者に優しい町にしてほしい。おじいさんやおばあさんが多いので、電車やバスを増やして普通に過ごせるように便利にしてほしい。

A

バスや電車は車を運転しない人にとっては大切な交通手段。公共交通の整備は自治体にとって欠かさない問題です。しかし問題は大きなお金がかかるということがあります。交通問題を解決するには鉄道よりも車を活用することを優先して検討します。



おじいちゃんたちを安心させるために老人ホームを作って介護福祉士を雇ってほしいです。いなければ僕が働きたいです。

A

立科町でもホームが足りなくて待っている人が大勢います。資格を持った働く人が足りません。関心を持った人、ホームを充実しようという人が大勢いれば実現してくると思います。真剣に取り組みます。



全世代が利用できるようなランニングコースや自転車で立科町を一周できるようなコースを作ってもらいたいです。

A

高齢化が進む中、高齢者だけでなく、私たちも健康でいられるように体を動かす場所、健康にかかわる環境整備を町に強く伝えていきます。



町は観光をもっと盛んにするために、もっと町の魅力を増やすために、街中に花や緑を増やしてほしい。立科町の事をもっと積極的にPRしてほしい。

A

観光客が年間200万人も来てもらっています。それぞれ施設やペンションをきれいにする努力をしています。観光だけでなく住んでよかったと思える町になるよう、行政はその支援をしてほしいと思っています。ご意見を反映できるように取り組んでいきます。



お母さんが家事や子育てで大変そうなので、お母さんが落ち着ける施設を作してほしいです。

A

安心して過ごせる場所、雰囲気の良いカフェや、たまにはカラオケなどの娯楽施設もいいと思ってます。家族で安心して楽しめる施設があればいいと思いますので、町長にも伝えます。



立科町は環境の良い観光地のあるところなので、ごみ拾いの回数を増やして、もっときれいにしてほしい。

A

現在、社会福祉協議会でボランティアと一緒に国道沿いのゴミ拾いをしています。観光協会でも取り組んでいますし、町民が一斉に清掃する日もあります。もっと増やせるよう行政に働きかけます。



町の図書館を大きくして、大きな学習センターを作してほしいです。また、心身ともに健康になってもらいたい。自然に溶け込むカフェのような施設、歴史や自然がわかるような施設、お母さんがくつろげるところ、学習スペースのようなところを作してほしい。

A

中央公民館の建て替えの時、どんな機能があったらいいか、図書館・学習センター・楽器の演奏ができる防音室も欲しいなどいろいろと意見を寄せていただき、町民みんなの意見を取り入れた施設になればいいなと思っています。現在町長は職員でたたき台を作っているところです。そのうちに町民の意見を求める時が来るので、家族で相談して意見を寄せてほしいと思います。



素晴らしいご提言をありがとうございました。
いろんなことを教えていただきました。

令和5年 第3回定例会

令和5年第3回定例会を9月4日から9月19日までの16日間の会期で開き、条例や補正予算、同意、認定などについて慎重に審議を行った。



◎全会一致で可決・承認 ○賛成多数で可決・承認 ×不採択

◇ 一部事務組合の解散など 3件	結果
令和6年3月31日をもって白樺湖下水道組合を解散すること、その後の維持管理に係る茅野市との事務委託について定めるもの。	◎
◇ 条例の一部改正 1件	
立科町索道事業条例の一部を改正する条例制定 エネルギー価格の高騰や利用者の安全管理体制を強化するため、料金を改定するもの。	○
◇ 補正予算 4件	
令和5年度立科町一般会計補正予算(第4号) 4億4,468万2千円を追加し、予算の総額を55億2,150万4千円とするもの。歳入では国県補助金3,180万9千円、繰越金の確定による5億5,523万4千円の増額計上。歳出では、役場庁舎やテレワークセンターの空調設備改修費として5,501万1千円、春先の凍霜害を受けた果樹農家の防除費用の支援費、高騰が続く飼料価格に対応した畜産農家・水産業者に対する支援費として3,328万円の計上などが主なもの。	◎
令和5年度立科町一般会計補正予算(第5号) 最終日に追加上程 昨年度に引き続き、白樺高原地区の廃屋解体工事費用として3億239万8千円を計上、予算の総額を58億2,150万4千円とするもの。	◎
令和5年度立科町介護保険特別会計補正予算(第1号) 過年度分返還金の確定や前年度繰越金確定に伴う補正が主なもの。	◎
令和5年度立科町水道事業会計補正予算(第2号) 橋梁修繕工事に伴う水管橋の更新工事費用の計上が主なもの。	◎
◇ 認定 8件	
令和4年度 立科町一般会計、国民健康保険特別会計、索道事業特別会計、白樺高原下水道事業特別会計の歳入歳出決算認定	◎
令和4年度 立科町水道事業会計及び下水道事業会計の決算認定	○
令和4年度 立科町介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の歳入歳出決算認定	○
◇ 人事案件 1件	
立科町教育委員の選任 飯島正茂氏の再任を同意	◎
◇ その他 3件	
令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分、令和4年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	◎
蓼科・中尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	◎
◇ 請願 1件 陳情 1件	
免税軽油制度の継続を求める請願書	◎
「安保関連3文書」の撤回と国会での慎重審議、対話の外交を求める意見書提出についての陳情	×
◇ 報告 3件	
健全化判断比率等の報告、立科町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書、損害賠償額の決定に係る専決処分	



◆ 討論

令和5年度立科町一般会計補正予算(第4号)

★賛成 村田桂子

この予算は、国からの地方交付税など4億4,600万円余を追加する補正であり、各事業に予算化されたが、適正と考え賛成とする。

歳出で主なものは、役場庁舎とテレワークセンターの空調設備の更新で、経費は5,500万円。老朽化により空調の冷房効率が落ちてきたこと、部品の調達もできないことから更新とのこと。

県の価格高騰特別対策支援金を原資に町民税所得割非課税世帯とそれに準ずる世帯に2万円を支給予定、300世帯を見込んでいる。また、今年もあったか燃料券として1世帯1万円の灯油購入補助券が支給予定。灯油値上りの折、期待される。

また、リンゴなど果樹の凍霜害で大きな打撃を被った事業者に10a当たり2万円を防除薬剤購入への補助として計2,300万円、飼料価格の高騰を受け9件の畜産・養鶏・養魚事業所に1,000万円余が予算化。

町長公約実現の町営住宅建設に伴う事業予算3,870万円は、町としてコンセプトを固めることが大前提。

令和4年度立科町一般会計歳入歳出決算認定

★賛成 村田桂子

令和4年度はロシアによるウクライナ侵略戦争によるエネルギーなどの物価高騰とコロナ禍による経済の低迷が国を覆い、当町でも若い世代を中心に経済的困難にさらされる事態が広範に広がった。

国による交付金の増額により、歳入では9億円の増収、歳出でも7億5千万増となり大型財政支出となった。ワクチン接種が何度も行われ、生活困窮世帯や子育て家庭に3度にわたる支援金支給、事業者支援や経済刺激策としての商品券支給が取り組まれた。

子育て支援として、保育園・小中学校の給食費無償化、通学用カバンの支給が開始され、出産祝い金制度で経済的負担の軽減が図られた。保育士増員、30人学級など子どもを大切にしている町の姿勢が現われた。地球温暖化対策としてごみ減量化のため大型生ごみ処理機導入が実施され効果を上げた。

時の課題に取り組まれたと認め認定する。

立科町索道事業条例の一部を改正する条例制定

★反対 小野沢常裕

中途半端な改正案であり、議案第49号に反対する。

指定管理者は富裕層を対象にして事業を進めようとしているが、提出された改正案ではそれを実現することができない。以前、この事業で町は毎年赤字経営が続いていた。そのためやむなく指定管理に移行したのであるから、これまでの路線に固執するのではなく、新しい分野へ踏み出すべきと考える。

「安保関連3文書」の撤回と国会での慎重審議、対話の外交を求める陳情書

★賛成 村田桂子

この陳情は政府に向けタイトル通り「安保防衛3文書の撤回」を求め、平和外交で我が国の安全を確保することを求める意見書提出を求める陳情であり、全面的に賛同する。

そもそも3文書の示すものは、歴代政権が堅持してきた「専守防衛」「先制攻撃的兵器は保有しない」とした憲法9条に由来する立場を投げ捨て、敵基地攻撃能力を保有し、そのために攻撃型防衛装備品の爆買いや自衛隊基地強化のため2017年までの43兆円という未曾有の大軍拡を閣議決定で決めたものである。国民の同意は得られていない。

すでに安保関連法により、日本が直接攻撃を受けなくても他国領域への攻撃が可能となっており、さらなる大軍拡により、隣国との緊張を高め戦争を呼び込む危険が増大する。国民の暮らしも町の行財政も大きな影響を受けることは必至である。

「軍事栄えて暮らしが滅ぶ」新たな戦前を招かないために、町から声をあげることが必要だ。

★反対 榎本真弓

議会が意見書提出をする場合、その実現性について最善の努力をすべき政治的・道義的責任があることも踏まえるべきである。国家の防衛や外交に関する内容は、町議会の判断を超えた権限外の事項で提出反対である。

3文書は「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」。このうち「国家安全保障戦略」は、国家安全保障に関する最上位のもので外交政策及び防衛政策に関する基本方針を定めたものである。

ロシア・北朝鮮・中国の3国と向き合っている日本の状況を踏まえ、今回の3文書の主眼は、極度に不安定化する日本周辺の地域において、とりわけ2027年までの今後5年間に脅威を顕在化させないことにある。

「国家安全保障戦略」では、「気候変動問題や感染症危機を始め、国境を越えて各国が協力して対応すべき諸課題も同時に起きている」ことを指摘している。

文書では「我が国が優先する戦略的アプローチ」として「外交力」を第1に掲げており、あくまでも「外交」を最優先とし、「防衛より外交が大事」という批判はあたらぬ。

総務経済常任委員会

所管 総務課・企画課・産業振興課・会計室・議会事務局
 委員長／今井健児 副委員長／村松浩喜
 委員／今井英昭 村田桂子 中村茂弘 小野沢常裕

9月12日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質疑



令和5年度立科町一般会計 補正予算(第4号)について

- Q** テレワーク推進事業の1500万円は何か。
- A** ふるさと交流館で30年使っていたエアコンが、異音の発生などで業務に支障が出てきたので撤去交換する。
- Q** ふるさと交流館の34万4千円の修繕料は。
- A** 裏の駐車場へのスロープがえぐれてきて車の先端がこすれたりするので補修する。
- Q** 一般管理経費の保険料200万円は何か。
- A** 会計年度任用職員が8名増えたので、その社会保険料である。
- Q** 財産管理費での改修はどこで内容は何か。
- A** 役場庁舎の2階、4階の空調設備14か所を改修する。平成7年設置で28年が経過して冷房の効率が悪い。

- Q** 権現の湯のWiFi整備はなぜ行うのか。
- A** QRコード決済が増えてきているが携帯の通信が不安定のため整備する。
- Q** 観光施設費300万円増の理由は。
- A** 噴水へ向かう遊歩道の改修だが資材が予定以上に高騰したため。



蓼科園地遊歩道

蓼科・中尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について

- Q** 1千万円を1300万円に増額だがそれはなぜか。
- A** 資材費の高騰と改修歩道の延長。
- Q** 改修する歩道は木製ブロックでないのか。
- A** アスファルト舗装の予定である。
- Q** 当初予算からの変更は他にもあるのか。

立科町索道事業条例の一部を改正する条例制定について

- A** 今のところはない。
- Q** 今回の値上げによる売り上げ増はどれくらいか。
- A** 現時点では何%と言えないが、昨年度は売り上げが3億1千万円だったので3億2千万から3千万にしたい。
- Q** 町民は無料なので町外に住む子どもや孫も無料にできないか。
- A** 町に住所がある方は免許証などで確認しているが、住所がない方については難しい。
- Q** 白樺高原は庶民的なリゾートを目指すのか。
- A** 基本的には町民や近隣住民を対象にしているが、売り上げを下げないためには



ゴンドラリフト

- Q** インバウンドなども対象に新たな客を取り込みたい。
- A** 料金は、指定管理者が一方的に設定できるのか。
- Q** 条例の範囲内で指定管理者が町と協議して決めるが、町は状況を見ながら調整する。

免税軽油制度の継続を求める請願

内容 道路を走らない機械に使う軽油について軽油引取税(1リットル当たり32円10銭)を免除する制度が令和6年3月に廃止される。索道事業者は負担を強いられるので継続を求める。

結果 農業者などでも免税軽油を使うなど賛成意見多数
結果 全会一致採択

内容 前回からの継続審査
審議 賛成、反対、一部賛成など意見多数
結果 賛成多数で採択

内容 前回からの継続審査
審議 賛成、反対、一部賛成など意見多数
結果 賛成多数で採択

社会文教建設常任委員会

所 管 町民課・建設環境課・教育委員会
 委員長／芝間教男 副委員長／秦野仁美
 委 員／榎本真弓・今井清・森澤文王・宮坂幸夫

9月11日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質疑

Q & A

令和5年度立科町一般会計 補正予算(第4号)

- Q** 戸籍住民基本台帳経費の37万円の顔認証端末とは。
- A** マイナンバーカードの交付の際に、カードの写真と来庁者の情報を照合し交付の誤りを防止するためのパソコン。平成27年から使用しており、今回、故障したため、新規購入する。
- Q** 長野県子育て世帯生活支援金特別給付金とは。
- A** 食料品価格及びエネルギー価格の高騰により、食費や冷暖房などの子育てに關わる費用が増額し、所得が低い子育て世帯ほど、家計への負担が重くなっている状況を踏まえ、町より給付を行う。対象は、「住民税所得割非課税世帯」児童一人につき3万円。
- Q** がん患者アピアランスケア助成補助金とは。
- A** 患者の方の就労、社会参加を支援するため、治療に伴う外見の変化を補完するウィッグや乳房補正具等の購入費用の一部を助成する。対象となる補正具は、ウィッグ等の頭髮補正具、乳房補正具など。申請は、各自で行う。
- Q** 今後、広報たてしな・町ホームページにて案内予定。
- A** 公民館事業経費の区及び部落等集会所整備の内容は、5類移行になって、地区公民館活動が再開され、



更新する顔認証端末

援策として、住民税所得割非課税世帯に対し、長野県が実施主体となる特別対策支援金を町より給付を行う。給付額は、一世帯2万円。

長野県子育て世帯生活支援金特別給付金とは。食料品価格及びエネルギー価格の高騰により、食費や冷暖房などの子育てに關わる費用が増額し、所得が低い子育て世帯ほど、家計への負担が重くなっている状況を踏まえ、町より給付を行う。対象は、「住民税所得割非課税世帯」児童一人につき3万円。

がん患者アピアランスケア助成補助金とは。患者の方の就労、社会参加を支援するため、治療に伴う外見の変化を補完するウィッグや乳房補正具等の購入費用の一部を助成する。対象となる補正具は、ウィッグ等の頭髮補正具、乳房補正具など。申請は、各自で行う。

今後、広報たてしな・町ホームページにて案内予定。公民館事業経費の区及び部落等集会所整備の内容は、5類移行になって、地区公民館活動が再開され、

館内の色々な備品が壊れていため更新する費用。中学校管理経費の修繕料の内容は。一年生校舎のサッシが2箇所、壊れている。スムーズに開閉できない、鍵がかからない状況。内側から棒を置いて対応している。修理が必要。



Q 土木費の内、道路橋梁費の修繕の内容とは。

A 早期な修繕が必要な橋として、今回6橋。橋の床版部分の舗装や撤去、鉄骨部分の工事となる。

通行止めの期間が発生するため、古町地区では、仮設道路で対応し、藤沢地区では、工事用道路を河川内に仮設して通行止め期間を短くする。



藤沢の「下村橋」

Q 町営住宅建設事業費について。町営住宅の建設についての建物の構想は。

A 建物及び、入居者の選定については、検討中である。

白樺湖下水道組合の解散について

白樺湖下水道組合が行っている事業は、施設の維持管理のみであり施設数や施設規模を考慮すると、茅野市の事業の一部として行うことが可能。結果、効率的な事業運営ができるとして、組合を解散する。

解散後には地方自治法にある事務の委託に移行とする。移行の時期は、令和6年3月31日。令和6年4月1日から事務の委託に移行する。



決算特別委員会

9月13日・14日の2日間、決算特別委員会を開催し、決算認定の審査を行った。

◆一般会計

●歳入

問 町税収入未済額は、昨年よりは減っているがまだ1600万ほどある。どのような対応をとったか。

答 滞納者数自体はどの税目に関しても件数、実数ともに減ってきている。

長期滞納者についても対応してきており減ってきている。

問 雑入1262万の中身は。

答 大きなもので、旧佐久食肉流通センター敷地売却に伴う構成市町村への返還金844万9097円。

●歳出

総務課

問 財産管理費について、庁舎LED化の効果は。

答 竣工は2月末。令和4年度の3月を1年前と比べると5キロワットほど消費電力量は下がっている。

問 当町は中電と新電力を利用しているが支出を抑えるために何か行っているか。

答 庁舎や小中学校、体育施設など大きな電力を使う施設については電力会社を乗り換えたりと常に注視して行っている。

問 愛川町との35周年記念はどのようなことを行ったのか。

答 お互いの町に関するクイズを設

け、それぞれの町にちなんだ特産品を正解者の中から35名にプレゼントした。

愛川町の提供品



LUSH四季の一服（入浴料12個セット）

問 別荘等貸付管理経費732万円の内容は。

答 別荘賃借権の抹消登記の買取代金32万8千800円とマウント蓼科の借地権の買取代金700万。

問 選挙委託費の備品、地表裏反転ユニットとは。

答 開票所で使う開票読み取り分類器に備え付けるもの。この導入によって以前より開票時の効率化が図られた。

企画課

問 ワンストップサービスの利点は。

答 転入転出ワンストップはマイナンバーカードを利用して転入先にデータが送られることで手続きがスムーズになる。

問 タテシナソンの実績は。

答 今年で5回目を開催した。これまでの延べ人数は93名の学生で県内、首都圏、関西圏など遠くは福岡からの参加もある。

問 タテシナソンの課題は。

答 一番は財源の確保。今まで国の支援を受けて実施してきたが今年度で切れてしまうので、新たな申請が必要になっている。

問 地元の高校生の参加は。

答 企画段階から高校生も参加して一緒に会議を進めている。今年は文化祭と同日になってしまった。

問 どのような課題に挑戦しているのか。

答 地域の課題ではなく、経営者や事業者が抱える課題をどう解決するかに挑戦している。

問 広報経費が増えているのは。

答 ホームページが更新の時期に来ていてスマホや、たてしなびでも見やすくするため。



タテシナソンの様子

問 地域おこし協力隊の給料と仕事のチェックは。

答 給料は月20万円。毎月報告書を提出して町長まで上げている。

問 テレワークセンターの受注状況は。

答 今までは塩尻振興公社からの受注が大半だったが、受注額2千600万円、9割を立科町オリジナル営業チームが獲得してきた。

問 奨学金返還助成金の利用が増えたのは。

答 これまでは広報1月号に案内を掲載していたが、年間を通して行うようにした。

問 たてしなびの利用状況は。

答 1970台を配布してほぼ全家庭に行き渡った。有線放送がなくなる来年3月から主な情報源になる。

るため利用が増えると考えている。

問 ふるさと寄付金が増えたのは。

答 返礼品の種類を大幅に増やした。好評なのは信州たてしな観光協会が作った立科応援感謝券。

問 条例の項目別の寄付金の内訳は。

たてしなびのインストールはこちらから！

iPhone

Android

QRコードを読み込んでね

好評な立科応援感謝券



問 権現の湯の利用が多いのは町内

答 合計が約4千900万円、住みよいまちづくりが908万円、「蓼科山」や「立科の水」のためが943万3千円、旧跡・史跡を後世につなげるが134万9千円、産業振興が799万7千円、子どもの育成、文化の振興が162万2千円、その他が500万円。

者か町外者か。
答 回数券の売り上げから調べると町外者が多い。

問 バイオマスボイラーの検討は。

答 プロジェクトチームを作って調査を進めている。

問 スマイル交通の利用状況は。

答 白樺線を除くと1便当たり0.8人。1便当たり2人位が目標値である。

町民課

問 戸籍住民基本台帳費、マイナンバーカード取得促進事業の申請時来庁方式等関連経費とは。

答 マイナンバーカード普及促進のためのもの。申請時来庁方式と交付時来庁方式があり、申請時来庁方式で申請された方には、本人

限定郵便で発送した経費で、交付時来庁方式に対しては、商品券等を差し上げた経費。

問 地域生活支援事業の訪問入浴の金額が突出して高い理由は。

答 在宅の訪問入浴は、入浴の設備を持って行き、自宅でお風呂に入るというもので、外出が上手くできない重度の障がい者のためのものである。

金額が突出しているのは、掛かる費用が高額なためである。その方が週に1回位として月4回で年間の件数となり、利用者が複数いると金額は突出してくる。

問 母子保健費、不妊治療費助成金は、令和4年度から保険適用になったので、制度が変わって初めての決算である

が、実績の3件というのは、保険適用外の高度医療を受けたというものか。

答 令和4年に制度経過措置の段階であった。実績は一般の保険適用で県に申請した分の残りである。保険適用の部分と町の補助という形である。令和5年度は保険適用が完全に施行されている。

問 令和4年の当初予算の説明では、県の支援事業の状況を見ながら、見直しを行って行くと説明を受けたが、その後は。

答 現在行っている。この夏に全県の調査があり、各市町村が現在母子の保険をどの様な形でおこなっているか報告している。

今後、結果を見ながら次年度の予算に

向けて良い意味で見直しをしていきたい。

産業振興課

問 畜産農家への運搬費補助はどのようか。

答 令和3年度は、佐久屠場と松本屠場・栃木処理センターとの運搬費の差額を全額広域連合が支払い、町は処理費などの差額・燃料費高騰分を牛1頭当たり1980円支払った。

令和4年度は、広域連合の負担金が20%減り、その分補填したので、負担金が増えている。

問 補助は令和5年までとなっていくが、その後はどうするの。

答 担当課としては支援を続けたいと考えている。

問 新型コロナウイルス感染症対応経済対策の「たてしな応援商品券」・「あったか燃料券」配布事業の効果はどうか。

答 登録店舗は160店、世帯ごとに5千円と3千円の商品券を配布し、町内事業所で利用された。

利用率は、5千円券が6万8千582枚で、95.91%、3千円券が3万9千742枚で94.05%、燃料券は世帯1万円で2千946世帯で94.81%。

売り上げ減少事業者への支援(20万円、40万円)は152事業者、原油価格・物価高騰への支援は255社で、喜ばれた。

問 観光振興費で新型コロナウイルスへの緊急対策補助金の「GTO信州立科町満喫クーポン」2千900万円余はどうで

あったか。

答 コロナ禍で観光客が減る中で、誘客を強めようと、宿泊5千円分とお土産・レジャーなどに使える3千円分のクーポン券を3千円で購入できるもので、2千814枚利用され、観光事業者を支援した。

また、「リアル宝探し」ということで、町内のお宝をめぐってもらおう着地型観光は大変好評であった。

問 展望台休憩所のデッキ改修が遅れたのは。

答 本来4年度の当初予算で整備することとしていたが、自然公園法の手続き、物価高により予算の調整がつかず遅れた。繰越明許をして今年度の工事となった。

問 美上下から三本の松及び町道夕日の丘公園線の草刈り委託料458万円が支出されているが、県道ではないか。

答 県の草刈りは、道路から1mの範囲で、景観のために町としてさらに4mまで草刈りを依頼している。

問 「エコたて情報紙」の効果は。

答 検証はまだできていない。

問 今後は評価するのか。

答 県の元気づくり支援金事業であり評価する。

建設環境課

問 配布先は。

答 町内全戸と企業・大型店に配布している。

問 資源ゴミの回収状況は。

答 人口減少もあり減っている。

問 佐久クリーンセンターへの投入量の増減は。

答 コロナ禍で前年より増えている。

問 蓼科区での大型生ごみ処理量は。

答 約8トン。

問 大型生ごみ処理機の設置場所及び補助率は。

答 大型宿泊施設で補助金率は上限300万円です。3分の1。

問 合併浄化槽の補助金50万円はアパートか。

答 一般住宅である。

問 設計委託料で入札を避けるため、分割委託の有無は。

答 ない。

問 小規模補修工事の発注数及び町外発注の有無は。

答 93件で、全て町内業者である。

問 住宅寿命化計画策定業務委託料が予算と比較すると少ないが。

答 長野県住宅公社に委託した。計画の一部が他のデータを活用できたため安価にできた。

問 災害復興工事は令和4年度で終了か。

答 全て終了した。

教育委員会

問 保育所の照明器具をLEDにしたことで、電気料金に変化はあったか。

答 令和4年の4月から7月までと令和5年の同月を比較したところ、電気料の高騰があるものの、約9万円の減になった。

問 会計年度任用職員の増員について、当初予算では7人を予定していたが、実際は何人増員できたか。

答 現時点で4人である。不足の場合、スポットの保育士を補充しながら、日々対応している。

保育士は、近隣の市町村と同様に、不足の状態である。保育士の募集については、近隣の学校に声がけや、ハローワークへ求人を出している。



リアル宝探し



エコたて情報誌

るが、条件の良い幼稚園などに流れてしまい、人員の確保が難しい状況。保育士の確保はこれからの課題となる。

問 教育委員は何名か。また月額報酬は。

答 教育委員は4名。月額報酬は2万4千円。

問 人権センター利用の稼働率ほどのくらいか。

答 利用については、申請の数はそれほど多くなく、年数件程度である。その他に、選挙の期日前投票所として使用している。

問 30人学級にしたことで、教育的な効果はあったか。

答 少人数になつて、きめ細かく対応できることで、学力の向上があったといえる。特に、保護者

からは、ありがたいと非常に好評である。

問 人権教育費の男女共同参画事業の60000円とは。

答 コロナの関係で、事業が思うように実施できなかったが、会議の費用である。

立科町後期高齢者医療特別会計

問 令和4年2月から2割負担が導入されている。予算の説明では270人位の見込みとの説明があったが、実績は。

答 令和4年度末(令和5年2月)において2割負担の方は、141名となっている。

索道事業特別会計

問 令和5年の春先、立て続けに事故が起こったが、その後の安全対策は。

答 専門業者に頼んで、リフトフレームの非破壊検査(磁粉を噴霧しヒビなどを発見する探傷検査)を行った。白樺高原国際スキー場231台、2in1スキー場394台すべて行ったが、異常なし。その後も探傷検査は続ける。

問 指定管理者納付金の内訳は。

答 施設利用料1千800万円、土地使用料827万円、圧雪車リース料827万円、2千円のほかに、町有建物・自動車共済掛金42万9千円、有料駐車場除雪費14万9千円、利益に対する納付金159万2千円、合計2千84万2千円から、町民シーズン券の割引分82万2千円を引いて納めてもらった金額である。

白樺高原下水道事業特別会計

問 収入未済額377万円は。

答 法人が主である。

問 督促はしているか。

答 2ヶ月に一度行っている。

問 収入未済の件数は。

答 令和4年度の現年度分は94件。

水道事業会計

問 漏水は改善されたか。

答 年に2・3回本管所は改善していた。別荘区域は発見が困難である。

問 危機管理マニュアルはどのようなものか。

答 風水害・事故などの発生の前

にどのような組織形態や手順で対応するかまとまっている。

問 本管布設替工事を実施した距離数は。

答 2箇所約300メートル。

問 本管故障など住民からの通報は。

答 本管で5件。

問 作業現場の中間の検証の有無は。

答 写真等で確認している。

問 工事マニュアルの有無は。

答 町では作っていない。

下水道事業会計

問 水道・下水道事業の会計を一本にしては。

答 今後、検討したい。

問 主な建設改良工事の施工業者数は。

答 町内1業者、町外1業者である。(基本的には町内業者としている。)

問 設計委託業者数は。

答 町外1業者で随



本管布設替の様子

質問項目

今定例会では、議員 11 人が一般質問を行いました。

なかむら しげひろ
中村 茂弘 議員 …………… 14 ページ

- 1 移住政策について
- 2 財産の状況について

もりさわ ふみお
森澤 文王 議員 …………… 14 ページ

- 1 交通安全協会への支援について
- 2 消防団のポンプ操法、ラッパ吹奏大会について

おのざわ としひろ
小野沢 常裕 議員 …………… 15 ページ

- 1 後期高齢者の増加に伴う農業経営について (その 2)
- 2 子育て支援、少子化対策と 10 年後の町民生活について

えのもと まゆみ
榎本 真弓 議員 …………… 15 ページ

- 1 子宮頸がん撲滅のため、キャッチアップ接種の周知・啓発と推進を
- 2 全国初協働電子図書館「デジとしよ信州」の推進を

しばま のりお
芝間 教男 議員 …………… 16 ページ

- 大丈夫か、災害発生時に対する備え

はたの ひとみ
秦野 仁美 議員 …………… 16 ページ

- 1 立科教育の更なる深化について
- 2 立科町のデジタル環境の整備について
- 3 子どもの安全・安心な居場所づくりについて

いまい ひであき
今井 英昭 議員 …………… 17 ページ

- 住宅政策について

いまい けんじ
今井 健児 議員 …………… 17 ページ

- 子育て世帯から必要とされるこども家庭センターとは

むらた けいこ
村田 桂子 議員 …………… 18 ページ

- 1 マイナ保険証の強制止めよ
- 2 熱中症対策
- 3 公共交通の改善を

むらまつ ひろよし
村松 浩喜 議員 …………… 18 ページ

- 1 観光振興の方針や計画は
- 2 町有別荘地の貸付を推進するための施策は

みやさか ゆきお
宮坂 幸夫 議員 …………… 19 ページ

- 1 行政・財政・議会の変革を
- 2 6 月定例議会の 15 項目の質問でその後、担当課で課題としてとりあげて話し合いをしたか・しなかったか
- 3 4 月の選挙でのポスター掲示板の設置箇所 (100) の複数改善有り
- 4 コロナ禍での外郭団体への補助金の戻し入れの有無及び金額。(国会は令和 4 年度分)
- 5 草刈り作業(労賃)賃金の増額を。また新設事項、
- 6 働きがいの職場とは
- 7 夢の平展望台の現在の環境は
- 8 農村体験事業の導入を当町でも。
- 9 U-44 未来を笑我孔(えがく)ランチタイムは
- 10 敬老会行事、縮小されての提案
- 11 タブレット環境の新設を、
- 12 移住定住アンバサダーと地域おこし協力隊の意見交換会の開催を
- 13 町内木材店様のビジネスを支え合いませんか。「町の森林材を使用して楽しく手づくりして産業振興。」(加工・販促・雇用と元気な町に)

※太字の質問を掲載。議事録は議会ホームページで閲覧できます。

町政に
くちくちと
質問っ！

一般質問の文章は質問者の責任で作成しています。



中村 茂弘
なかむら しげひろ

移住体験住宅について

問 現在ある2棟の利用状況は。

企画課長 コロナ禍で落ち込んだ時期があったが、今は50人弱まで持ち直している。

問 何県からが多く、移住に繋がった件数は。

企画課長 東京など首都圏からが多く、5世帯12名となっている。



芦田区の赤羽根にある「移住体験住宅」



移住体験住宅の「集会室」

財産状況について

問 旧保育園跡地で千草保育園だけが現状のままだが売買計画は。

総務課長 今のところない。

問 美上下の農地について違法状況の農地について町長に伺う。

町長 現在は畑として貸し付けているが早急に処分等はしていきたい。



森澤 文王
もりさわ ふみお

立科町交通安全協会に支援を

問 交通安全協会の活動費は、各区の役員の皆様、町民の皆様より「車輛割協力金」という寄附金を集めて運営しているが、この方法が難しいものになってきている。町が資金を出して支援するべきではないか。

町長 交通安全協会は、交通安全活動を地域住民が力を合わせる事で、交通事故のない安全で快適な住みよいまちづくりを推進、実現するために、関係機関ならびに諸団体と連携した活動、事業を展開していただいている。

現在、協会では広報啓発活動、保育園・小学校での交通安全教室、交通安全週間における学校周辺での街頭指導、町内イベントでの交通安全整理、町道のストップライン引きなど、地域のための様々な交通安全活動を行っている。町として、協会への補助交付金のほか事務局を担い、協会の事業推進を支援すると共に町の交通安全施策の取組を連携しながら行っている。協会への活動の支援については、協会でも事業、協力金の見直しなど活動の負担軽減を図って

いるため、今後、年間収支、事業報告等をしっかりと精査した上で、慎重に判断したい。

問 区で協会役員を出さなければならぬ中で、協会員の集めた寄附金で、人件費等を賄うのは、もはや難しい時代である。慎重ではなく、前向きに検討できないか。

町長 慎重というのは、公金を動かすには、しっかりとした理由が必要だからである。協会でも事業の見直しをしているなかで、これをしっかりと捉えて、行政が果たすべき事を精査するという意味で慎重と言っている。支援をしないという事を言っていない。



交通安全協会による「ストップライン引き」

後期高齢者の増加に伴う農業経営について

問 畑は何haあるか。そのうち、耕作放棄は何haか。何%か。

産業振興課長 畑は557haで、そのうち耕作放棄は273haで、49%になっている。

問 「たてしな屋」はいつ、どのような目的でつくられたのか。

町長 平成23年6月に農業の振興と所得向上を目指すことを目的に設立された。

問 令和4年度のたてしな屋の経常利益が49万円ほどになっているが、町からの補助金は出ていないのか。

産業振興課長 令和4年度の補助金は566万円となっている。

問 畑の耕作放棄が広がり、有害鳥獣が人エリアに近づいている。たてしな屋を「そば専門の公社」にしたかどうか。落花生などいろいろなことに手を出さずにそば一本、大規模に行ったらどうか。

町長 そば生産者組合の作付面積が11haと拡大してきた。組合と連携を図り事業を推進していきたい。



小野沢 常裕
おのざわ ときひろ

少子化対策について

問 子育て支援、なぜこんなに手厚くなったのか。

教育次長 少子高齢化のため、子育て家庭を全体で支えようとの国の方針により手厚くなっている。

問 子供に食べさせることは親の一番の義務と責任。給食費無償化はよくない支援ではないか。

教育次長 国は親の責任を認識しながらも子育て対策の一環として推進しようとしている。

問 農家の数はどうなっているか。週休二日の認定農業者数は。

産業振興課長 平成27年から5年間に199戸減少している。週休二日の認定農業者はいない。

問 週休二日の町を目指すべき。少子化対策の最善策は？

町長 絶対の改善策はない。全国的な大きな課題である。

結び 最善策は「親子で楽しい活動を」を

山すること。そのため週休二日の町を創ることを、親子の活動をしっかりと支援することが大切。



民家に迫る耕作放棄畑

子宮頸がん撲滅のため、キャッチアップ接種の周知・啓発と推進を

問 令和4年4月から令和7年3月の3年間に、定期接種と同条件で接種ができるキャッチアップ接種が設けられた。推進は。

町長 接種機会を逃した平成9年4月2日〜平成19年4月1日生まれの女性が対象となる。令和4年から既に接種のお知らせをしている。町で把握する対象人数は、216名であり、今後も積極的に周知していく。

問 3回全てを無料で行うためには。

町民課長 標準的接種期間は6か月を必要とするため、遅くとも令和6年10月1日が最終の1回目接種となる。

問 この度のキャッチアップ接種を集中して行う取り組みは。

町民課長 定期接種の対象者は年齢的に保護者の理解が必要であるので、通知は保護者へ送っており、接種判断は保護者に委ねられている。

問 全国の試みであるデジと

しよ信州は、長野県内全77市町村が協働で行い、県民誰でも電子書籍の貸出しができる。状況はどうか。

教育次長 開始から1年が経過。立科町中央公民館図書室で手続きができる。立科町登録者は55人、貸出件数は574件。デジとしよ信州の蔵書数は2万2000冊。登録の紹介を広報たてしなで紹介している。



榎本 真弓
えのもと まゆみ

全国初協働電子図書館「デジとしよ信州」の推進を

問 デジとしよ信州のメリット

1. 蔵書不足の増強 2. 紙と電子書籍との組み合わせで、スペース問題が軽減 3. 図書館未設置でも、電子書籍活用で学びの環境が強化 4. 潜在的な利用者の呼び水となる 5. 読書層の拡がり、読書文化の発展につながる

メリットを生かし、読書環境を高める活用の強化を求める。

立科町にお住まいのみならずへ

市町村と県による協働電子図書館

デジとしよ信州

市町村と県による協働電子図書館
県内77市町村と県による協働電子図書館
電子書籍の貸出しがいつでもどこでも
電子書籍の貸出しがいつでもどこでも
電子書籍の貸出しがいつでもどこでも

当館の利用者カードでかんたんにお手続きできます。

立科町にお住まいのみならずは
立科町公民館図書室 カウンターへ
月～金 10:00～18:00 日祝 13:00～17:00
土 10:00～17:00
TEL0267(88)8417 有線 4000 番

市町村と県による協働電子図書館運営委員会



芝間 教男
しばま のりお

大丈夫か、災害発生時に対する備え

問 町長の防災に対する思いを問う。

町長 「国土強靱化基本法」が平成26年に交付施行され、当町でも国土強靱化地域計画を策定した。効率的・効果的に強靱化を進めるためには、施策の優先順位の高いものから重点的に進める必要がある。自助共助公助が適切に連携し、防災減災対策に取り組む事が重要である。

町民一人一人の防災意識向上が、自分・家族や近隣住民、町内会等の助け合いに繋がり、被害の軽減に大きな力を発揮することになる。災害が起きる可能性を低くし、そして町民の命と財産を守り、安心安全な地域を継続することは、わたくしの使命である。

問 立科町は災害発生時に本部としてしっかり機能できるか。

総務課長 役場庁舎の耐震は平成27年度新建築基準に基づく耐震補強工事を実施し、震度6強から7の基準を越える耐震が確保されている。

職員配備については、その災害状況により、警戒配備要員は異なる対応を取る事になっている。

問 避難所に液体ミルクはあるか。

総務課長 町では粉ミルクのほか、液体ミルク、使い捨てほ乳瓶も備えている。その他、避難生活に必要なものを災害対策基本計画に基づき多種類の備蓄品を備えている。

問 一時避難所へ担架など必需品について町で配布できないか。

総務課長 維持管理上、町の避難所に配備しておく、必要なときに一時避難所を持って行くのが効率的と考える。また、身近な物を使って担架とする訓練メニューも用意している。



柳沢公民館に用意されている防災用品



秦野 仁美
はたの ひとみ

立科教育の更なる深化について

問 ICT教育及び、GIGAスクール構想の今後の方針について。

教育長 整備した機械をどれだけ有効に活用し、成果を繋げていく事ができるかが大事。又、県教育委員会とも連携を取りながら、児童生徒にとって充実した学習が提供できるように、対応支援したい。

問 教職員の習熟度(スキル)、又、児童生徒の理解度について。

教育次長 教職員のスキルの差はあるものの、以前より円滑に利用が進んでいる。児童生徒においても、確実に推進され成果が出ている。

デジタルの環境整備について

問 町民のインターネットの必要性は。

町長 インターネットは、現在の生活になくはならないもの。高齢者を含め、多くの方がタブレット端末に慣れていただき、インターネットを使ってもらうきっかけになれば良いと思われる。高度情報化に対応で

きるよう、住民生活に支障を来すことなく、かつ安全に活用できるように、町も努めていく必要がある。今後も更に町の公共施設の建物にWi-Fi環境の整備を進めていきたい。

子どもの安全・安心な居場所づくりについて

問 児童館の館内環境、又、視察は定期的に行っているか。

教育次長 この夏は猛暑日が続く、館内の温度は高くなっていったが、冷房は全開にしていた。しかし、室内換気を行うため、出入り口を開けていた事で効き目が悪かったと思われる。視察に関しては、定期ではないが訪問している。

結び ICT教育は遅れることなく、むしろ他の地域よりも先んじた取り組みを行ってほしい。

町内の宝である子ども達を預かる大事な施設。町の手厚い保護の下、子育て中のお母さん達が気軽にに行ける、安心して行ける、相談できる居場所づくりとして、快適な環境の提供を今後も更に、期待している。



住宅政策について

問 定住者・移住者の住宅政策の基本的な考えは。

町長 当町に住むことを希望する方のニーズに応じて、支援の充実に努めることが重要と考えている。

問 「立科町空家等対策計画」において、空家の不良度の調査結果がAからDまでランク付けがあり、Dは「倒壊や建築材の飛散など危険が切迫しており、緊急度が極めて高い。解体が必要と思われる。」となっている。国のガイドラインからも、このDランクは特定空家等（*）に認定するべきではないか。

建設環境課長 基本は国のガイドラインに沿うこととなる。

問 予定されている新規の集合住宅に、民間の資金とノウハウを活用して、敷地内に子育てなど話せる場として、カフェや学習塾を併設してはどうか。

町長 参考にさせていただく。

問 町主導で空家のリフォームを行い、その物件を賃貸・販売及び、空家バンク・集合住宅など住



今井 英昭
いまい ひであき

宅に関することを一手に受ける公社を設立してはどうか。

企画課長 空家利活用事業等について法人設立を検討している。ただ、集合住宅等については難しい。

問 住宅セーフティーネット制度の活用と推進は。

建設環境課長 現在、当町ではセーフティーネット制度に関する空家の登録住宅はない。町営住宅は現状の空き状況から登録は難しい。今後、情報提供をしていきたい。

（*特定空家等…近隣に影響を及ぼし、早急な対応が必要な空家。認定されると固定資産税等の住宅用地特例から除外され、土地にかかる固定資産税が現状と比較をして最大で6倍になる。）

住宅に関する各計画及びガイドライン等



立科町住宅情報



立科町空家等対策計画



移住者向け住宅の整備に向けた住宅希望アンケート調査



「特定空家等に対する措置」に関する適切な実施を図るために必要な指針（ガイドライン）

令和6年に設置する子ども家庭センターについて一体的な支援体制の充実を図るとあるがこれまでと違うセンターの魅力とは。

町長 現行の子育て世代、地域包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設立の意義や機能を維持した上で、組織を見直し、すべての妊産婦、子育て世代、子どもを対象に母子保健と福祉、児童福祉の一体的な相談支援を行う機関とされている。まさに、この一体的に幅広い機能を有し、連携協力をして対応する事が子ども子育て家庭に対するきめ細やかな相談支援の充実につながるものと期待している。

問 1歳未満の一時預かりを児童館で行ってもらえないか。

教育次長 現状は考えていない。



今井 健児
いまい けんじ

問 どういった理由か。

町長 国の基準によって、施設の増改築、保育士の配置、必要な用具の購入と相当な費用を要する。

少なくとも11か月から下の子どもさんというのは相当なりリスクがある。

問 新たに、課、室（子ども子育て支援）等設置しては。

町長 利用者の視点、効果、効率的な行財政運営をふまえた上で、必要があれば検討してまいりたいと思う。



村田 桂子
むらた けいこ

マイナ保険証の強制止めよ

問 政府は、来年秋に紙ベースの保険証を廃止し、任意であるマイナンバーカードとの一体化を強制しようとしている。急激な一体化のために、重大な事故が多発。高齢化の進む当町では紙の保険証の利用も存続すべきと考えるが。

町長 独自の対応はできない。

問 今の保険証は30分もあれば再発行できるが、マイナ保険証では。

町民課長 再発行に2〜3週間かかり、費用は千円。

結び 再発行にも手間のかかるマイナ保険証の強制はやめ、紙の保険証の存続を求めるべき。

熱中症対策

問 熱中症で倒れるケースが増えている。中央公民館や老人福祉センターなどクーラーの効いた施設を開放しては。

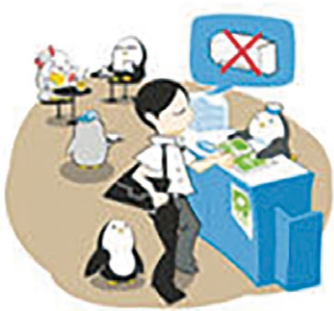
建設環境課長 「クールシェアスポット」としてふるさと交流館が出てくる。ゆったりと過ごしてもらえば。クーラーのある地区公民館は少ない。

問 公民館などにクーラー設置の補助制度は。個人宅にも補助を。

町民課長 地域コミュニティの助成事業で使える。令和5年に1件、補助をつけてクーラーを設置した地区公民館がある。個人宅設置補助は状況を見て。

結び 「クーラー要らずの立科町」でも30度を超える日々が続く地球沸騰の時代に入った。新たな対策が必要。

まちでクールシェア



環境省ホームページより



村松 浩喜
むらまつ ひろよし

観光施策・別荘地の貸付推進策

問 ①「観光」の意義をどのよう捉えているか。②女神湖通りや「蓼科牧場」信号付近の建物撤去後の土地はどのように利用するか。

町長 ①観光は地域経済の活性化に寄与し、雇用創出や地域産業の支援にもつながる。町全体を観光地と捉え、当町の魅力を最大限に引き出し、持続的な観光振興につなげる。②今年度、地域住民・事業者・行政などによる会議体をつくり、その中で検討する。

問 ①道の駅内の都市農村交流施設や②クロスカントリーコースの改修が必要だ。その予定は。

産業振興課長 ①農閑期の改修が最適。9月に申請する観光庁補助事業の採択に先行して整備したい。②準高地トレーニングコースとして評価が高い。整備の検討を進める。

問 御泉水自然園とスキー場の指定管理について問う。①指定管理にしたことによる町財政の変化②指定管理者ではない会社が運営

③指定管理者の地元観光事業者との協調・共存の姿勢。
産業振興課長 ①人件費など管理運営費は指定管理者が負担する。有利な辺地対策事業債を活用することができる。②業務の受委託は適正である。③懇談会を開くなど、努力はしているようだ。

問 別荘地貸付の現状は。

総務課長 貸付が見込める好条件の区画を毎年整備している。貸付可能区画は町のホームページ等で知らせている。開発から50年以上経過し樹木も成長するが、伐採は敷地内に限り、町の許可が必要になる。

結び 別荘地利用者の意見を聞きながら、貸付促進、立科町ファンの増加に努めてほしい。



改修が待たれる
「道の駅 女神の里たてしな」の中核施設



宮坂 幸夫
みやさか ゆきお

行政・財政・議会の変革を（反問権の導入・議員定数4名削減）

問 反問権の導入を

町長 お答えする立場にはない。議会としては是非、議論して下さい。

問 議員定数4名削減を

副町長 お答えする立場にはない。

6月議会での15項目の一般質問事項のその後は

町長 6月に答弁している。

コロナ禍での補助金の戻し金額の有無は

総務課長 令和4年度は849万3294円あった。

草刈り作業の労賃の増額及び感謝金（仮称）の支給制度を

産業振興課長 委員会では標準金額を設定、最終的には両者の話し合いで決定する。また、委託業者への感謝金制度は考えていない。

働がいの職場とは及び退職者に関する想いは

町長 質問の意図がよく分からない。全職員、一丸となり、町民のために努めている。また、退職者については大変、残念である。

夢の平展望台園地の現在の環境は

町長 案内板は、本年度新設する。また、前方の白樺の木は、今後伐採予定である。

農村体験事業の導入を当町でも

教育長 教育委員会では考えていない。

U-44未来を笑我孔（えがく）ランチタイムのその後は

副町長 コロナ禍で行ってはいない。

敬老会行事、縮小されての提案。（経費減額分で4年に一度、プロ歌手イベントを）

町長 縮小しての敬老会は実施しており、新たにイベントは考えていない。

タブレット環境の新設を

町長 質問の（譲ります、譲ってください）の町民からの情報欄は対応が難しい。

移住定住アンバサダーと地域おこし協力隊の意見交換会の開催を

町長 その前に制度の見直しをしたい。

第5回臨時議会

9月26日に開催

一般会計補正予算（第6号）

都市農村交流施設（通称「蓼科農ん喜村」）の野菜売場部分を解体撤去し、別棟に野菜売場と、お土産・特産物販売エリアを新築する。また既存施設を改修し、レストランエリアの拡張とツアーデスクスペースを設置する。

設計監理と工事請負費として1億800万円を計上。賛成多数で可決された。

各議員の賛否結果

議員名	秦野仁美	宮坂幸夫	小野沢常裕	今井健児	芝間教男	中村茂弘	村松浩喜	森澤文王	村田桂子	榎本真弓	今井英昭	今井清	議決結果
立科町索道事業条例の一部を改正する条例制定	○	○	■	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
令和4年度立科町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	—	可決
令和4年度立科町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	—	可決
「安保関連3文書」の撤回と国会での慎重審議、対話の外交を求める意見書提出についての陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	○	■	■	—	不採択
令和5年度立科町一般会計補正予算（第6号）（9月26日臨時議会）	○	○	■	■	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

※「○」は賛成、「■」は反対 ※議長は今井 清議員は採決に加わりません。
※これ以外の案件等は、全会一致でした。

町の未来を語り合おう

— 議会報告 & 意見交換会 —

両角町政も2期目。「車の両輪」としての町議会が、町民のみなさんから幅広くご意見を頂き、ともに明日の立科町を語り合う場として、フリートークの話し合いの場を設けます。

今年度事業の特徴や課題などを共有しながら、意見交換ができれば幸いです。「こんな町であってほしい」の願いを込めて、共に語り合しましょう。

開催日時

◆11月16日(木) 19:00~20:30

オンライン

課題ごと

- 1 農林・観光・商工業 活気ある町づくり
- 2 教育・子育て のびのび育つ町づくり
- 3 福祉・公共交通 優しい町づくり
- 4 空き家対策・企業誘致・移住定住 元気なまちづくり

お申し込みは
こちらから



◆11月17日(金) 14:00~15:30

女神湖体育館会議室

19:00~20:30

老人福祉センター

◆11月18日(土) 13:30~15:00

老人福祉センター

フリートーク
話題は自由です。
どんなことでも
お気軽に。
<申し込みは不要>

大勢の方のご参加をお待ちしています。



議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行/長野県立科町議会 編集/議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL (0267) 88-8413 有線2311 FAX (0267) 56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL https://www.town.tateshina.nagano.jp



議会ホームページ

編集後記

秋と言えば「○○の秋」というキャッチフレーズがよく使われますが、「PRの秋」というのはいかがでしょうか。

立科産の様々な美味しい農作物が収穫され「立科町では、こんな美味しい物が採れます。」とPR向きの言葉が実感できます。

私は毎年「PRの秋」です。家業で栽培している高麗人参を県外のイベントに販売に行き、立科町の農産物や観光地の魅力をPRしています。今年は改めて立科町の秋の魅力を探してPRの一助にできればと考えています。

森澤文王

○今後とも「議会だより」をご愛読ください。

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

村田桂子
小野沢常裕
森澤文王
芝間教男
今井健児
宮坂幸夫
秦野仁美